

統合経営セミナー in 関西
SDGs/ESG/CSVの経営への統合
～マテリアリティの特定と開示～

SDGs/ESG/CSVを経営のツールとして活用するには、長期的視点で事業機会・リスクとなりうる社会課題・社会動向を「マテリアリティ」として定め、これを自社の価値創造ストーリーと関連づけながら社内外に発信していくことが重要です。

本セミナーでは、いくつかの企業様の事例をもとに、事業と統合したマテリアリティ（社会課題・動向）の特定方法や、社内関係部門を巻き込んでマテリアリティを策定するプロセスについてご説明します。また、2019年度に発行された統合報告書において「マテリアリティ」や「価値創造プロセス」がどのように表現されているのかを、事例とともにご紹介したいと思います。

講座概要

◆開催日時

2019年 10月28日（月） 14：00～16：00

講座内容は次のページをご覧ください。

- ◆対象： 企業の経営企画、CSR/ESG、広報・IRなど統合経営の責任者、実務担当者の方。
- ◆定員： 15名（1社について2名様以内でお願い申し上げます。）
※定員になり次第締め切ります。
※同業他社の方ご参加につきましては、誠に恐縮ながらご遠慮願います。
- ◆参加費用： 無料
- ◆会場： 大阪市立総合生涯学習センター 第5研修室 大阪市北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階
<https://osakademanabu.com/umeda/access>
- ◆主催： 株式会社クレアン
- ◆お問合せ： 株式会社クレアンセミナー事務局 E-mail/application@cre-en.jp 電話/03-5423-6920
- ◆お申込： 別紙、お申込書へご記入の上、メール、またはFAXにてお申込下さい。

<株式会社クレアン>

1988年設立。サステナブルな社会を実現することを使命に、経営コンサルティング事業を展開。2000年より大企業を中心にCSR体制の立ち上げ、マネジメントの推進、CSRレポート、統合レポートをはじめとした情報開示およびステークホルダーとのコミュニケーション支援を一貫して行っています。

講座内容

<前半> マテリアリティ策定にあたって実務のポイント

- 企業理念や戦略など、経営における上位概念体系の中にどのように位置付けるのか
- 策定過程で、どのように社内外を巻き込むのか
- マテリアリティをどのように社内浸透・運用していくのか

<後半> 2019年度版の統合報告書で見える実例

- 2019年度版の統合報告書に見る「マテリアリティ」「価値創造ストーリー」の描き方

講師



伊藤 雅和

株式会社クレアン

統合報告支援グループ コンサルタント

大手金属メーカーで原料調達および財務関連業務に携わった後、クレアンに参画。統合報告支援、ESG情報開示支援、サステナビリティ重要テーマ（マテリアリティ）策定およびPDCAマネジメント体制構築などのコンサルティング業務に従事。東京大学経済学部卒業。



浦上 英朗

株式会社クレアン

サステナビリティ・コミュニケーショングループ 主事

ICT企業に勤務した後、2003年にクレアンに入社。企業のCSRレポートの制作支援を中心に、ステークホルダー・ダイアログや社内座談会の企画運営等、企業の社内外とのCSRコミュニケーション全般に関する支援に従事。